

## 第24回 SRお客様交流会

2017年2月14日(火) 大田区産業プラザPiO

# 作業件数71万件!! 業界No.1の引越のプロが 実証した“セイフティレコーダ®の真価”

株式会社サカイ引越センター

これが我が社の  
**SR導入  
効果**

事故率が  
約**1/4**に大幅ダウン!!  
2004年度と2015年度との比較

- 所在地：大阪府堺市堺区石津北町56番地
- 創業：1971年11月
- 代表者：代表取締役社長 田島哲康
- 事業内容：引越運送、引越付帯サービス業務

**SR導入** SR Pocket 3,027台  
事業用車両 1,808台  
非事業用車両 1,219台  
SR Connect 630台  
事業用車両



### SRが運輸安全マネジメントの重点施策 SRと徹底した安全教育で事故率1/4に

2000年頃から会社の急成長とともに、「(優秀な)人員不足」「教育不足」「管理不足」が課題となり、車両・物損・労災事故や、クレーム件数も増加していきました。

2001年から初期のデジタコを導入しましたが、「集計の手間」「一元管理の難しさ」「効果が見えにくい」などの課題が発生。2005年から「①SR全車導入」と「②安全教育研修」を開始し、いわゆる「OJTから脱却」するため、安全教育の徹底を図りました。①は、「会社が良くなることは、ど

んどんやっていきましょう!」という会長の一声で全車導入が決定(図1)。②は、本社研修センターに危険な交差点やS字カーブなどを配置した「安全運転実習コース」を併設。SR搭載車にドライバーとマイスター、技術講師\*を同乗させ、「90点以上取るまで帰さない!!」という研修を実施しました(写真1)。

SR活用のポイントは、「5項目での点数評価」「最高速度の管理」「連続走行の管理」の3つで、全国3,600台以上にのぼるSRデータを本社で一元管理(図2)。出社や作業データ、SRデータなど、全支社のドライバーの業務内容を管理します(図3)。

### ■ 車両事故削減の施策 (2001~2015年)



図1 同社が2001年から2015年までに実施した施策の数々。安全運転機器や研修設備、人材育成など試行錯誤の記録である

SR  
運転診断  
で評価



写真1 本社研修センターでは、マイスターや技術講師のベテランドライバーによる同乗教習のほか、車両構造の理解や車両点検などを集中して学ぶ

種別名	事業所	ブレーキ (台)	停止 (台)	ハンドル (台)	右左折 (台)	スムーズ (台)	総合
新島	53.7	0.14.24	25	25	25	25	100
東証	58.3	0.14.16	15	15	20	20	81
福生	59.7	0.19.20	10	16	20	20	86
名古屋南	52.2	0.15.42	16	25	25	25	86
北入部	59.6	0.18.20	20	25	25	18	86
松原	59.5	0.31.20	10	20	17	20	87
名古屋南	59	0.27.37	18	20	20	20	86
名古屋南	57.7	1.07.35	12	18	18	18	84
名古屋南	58	1.21.31	12	18	18	18	87
東証	58.7	0.17.31	17	18	20	17	82

図2 運転診断5項目「ブレーキ」「停止」「ハンドル」「右左折」「スムーズ」の点数と総合点、「最高速度の管理」「連続走行の管理」を見てドライバーの技術レベルを把握

各ドライバーのSR得点は、「A～E」の5段階にランク分けし、70点以上を合格点として「安全運転への意識づけ」を行っています(図4、5)。

SR点数ランクは、月に2回、全従業員に配信。全従業員順位や、支社別順位などを確認できます。また各支社の出入口など目立つ場所へ掲示し、高得点の優秀者は社内報にも掲載します(図6)。D、Eランク者には、管理者が安全指導書を利用した面談の上、課題の確認や目標点数の設定を行い、技術講師やマイスターによる弱点項目の添乗指導をします。

さらに、SRデータを元にした褒賞制度「無事故・愛車手当」を導入。「①事故がない」「②月4回の丁寧な洗車」「③4時間超の連続運転がない」「④最高速度90km/h超の運転がない」の4つが実行できると、現業で最大4万円が支給されます。

**SR導入と徹底した安全指導活動の結果、事故率も約1/4に減少(図7)。**2012年にはドライブレコーダーを導入し、車内外の映像を記録することで、ドライバーの挙動や姿勢など

の問題点が明確になり、車間距離不足も再認識できました。

## SR Connectを630台大量導入!! 次の一手は、“さらなる生産性の向上”

2015年より新型SR『SR Connect』を630両に設置。危険挙動の発生場所をデータとして蓄積し、「ハザードマップ」として活用することを検討中です(図8)。

また車両の移動時間と、引越荷物の積み卸し時間をSRの位置情報に連動させ、見える化とデータベース化することで「1件ごとの採算管理」「優秀な営業やドライバーの行動分析の実施」「効率的な配車やエリア編成の検証」など、SRデータを活用した「さらなる生産性向上」のための具体的な施策も考えています(図9)。

※ 1998年、ISO9001取得とともに設置した厳格な認定制度「引越マスター制度」。全従業員約3,000人中の約10名が「マイスター」、約20名が「技術講師」の称号を得る

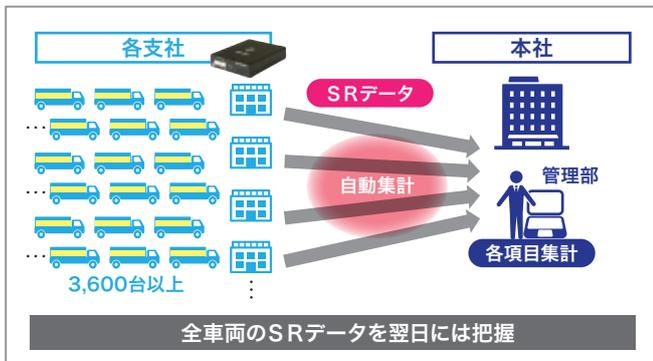


図3 運行当日の夜中に、支社ごとに全ドライバーのSRデータが自動集計され、翌日には各事業部の運行や運転内容などが本社管理部でも把握できる

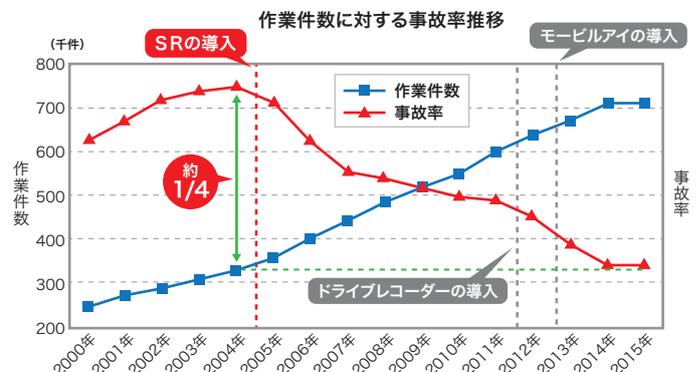


図7 2000年から2015年までの事故率の変化。2005年のSR導入から衝突防止システム『モバイルアイ』やドライブレコーダー導入も功を奏し、事故が大幅に減少

ランク	点数
Aランク	85点以上
Bランク	70～84点
Cランク	55～69点
Dランク	40～54点
Eランク	40点未満

**70点以上が合格点**

図4 SR得点でドライバーをランク分け評価。同社では、70点以上が合格点となり、平均点は現業で86点



図8 車両の動態管理と連動しながら、ハザードマップで公道の危険地帯を表示。ドライバーに注意喚起を促す

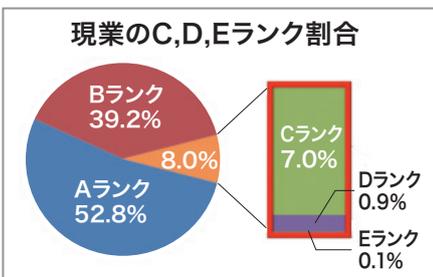


図5 ランク別の割合では、現業でC、D、Eランク(70点未満)がドライバー全体の8%

85点～(A)			70～84点(B)			55～69点(C)			40～54点(D)			～39点(E)		
支社	社員名	職種	支社	社員名	職種	支社	社員名	職種	支社	社員名	職種	支社	社員名	職種
支社	社員名	職種	支社	社員名	職種	支社	社員名	職種	支社	社員名	職種	支社	社員名	職種

図6 全ドライバーの成績は全社的に公表し、「安全運転の意識づけ」を行う。また、支社内の掲示板などにも掲出し、社内全員で共有する

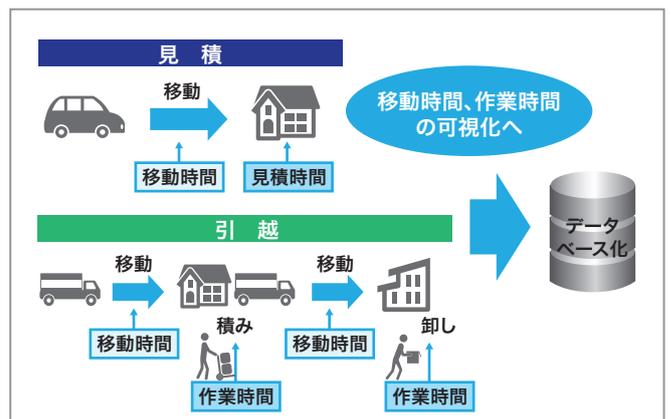


図9 『SR Connect』の動態管理を有効活用し、見積時と引越時の車両の移動時間と作業時間の可視化、データベース化することで生産性向上に向け分析

# めざすは、安全・安心・信頼のブランド 会社一体で歩む100年企業への道のり

## 越野運送株式会社

越野運送様の事例は、SR NEWS vol.54でも紹介。データ・テックWebサイトを  
ご参照ください。

- 所在地：大阪府大阪市都島区都島本通5-4-22 (本社)
- 創業：1932年
- 代表者：代表取締役 越野泰弘
- 事業内容：一般貨物運送事業、貨物運送取扱事業、損害保険代理店、ケアサービス事業、害虫駆除事業、環境システム事業、ドリンク事業、シャトル事業、その他

**SR導入** SRV Digitacho 51台  
(SR Pocket52台から載せ替え)



### これが我が社のSR導入効果

車両事故件数が**14**件から**1**件※に削減！  
燃料費削減にも大いに貢献!!

※ 2007年 (SR導入時) と2016年との比較

### 車両事故も燃料費用も大幅削減 運転技術の本質も変えたSR効果

2007年秋から『SR Pocket』を導入して今年で約10年目です。当初は、「入出庫時間管理」「運転の見える化」が目的でした。車両事故やトラブルが多かったのですが、SRの運用を地道に続けることで全社的に事故発生件数が減少。2016年度の上半期にはSR運転診断得点の年間平均点も91.7点を記録し、事故発生件数も全社で1件となりました(図1、2)。社内では、SR得点でドライバー同士競い合わせるのではなく、「70点以上でええよ」と伝えました。得点を意識し過ぎて、黄色信号を無視して突き切ったりしても本末転倒だからです。ただ、ドライバーには、「70点の時と、努力して90点

になった時の運転は、どれだけ違うか自分でわかるだろう」と伝えています。それは、SRによる運転技術向上で日々の運転での安全マージンに大きな差が出るということです。特に課題だったのが後退事故です。指差し確認やバック開始時の「3秒ルール」など5つの安全行動(図3)を決め、『SRV Digitacho』の車内・後方映像を活用して安全行動を遵守しているかを検証しました(図4)。SR得点アップとともに燃料費も大幅に削減し、国土交通大臣賞を受賞しました(図5)。会社の収益も安定し、人の定着率も向上。事故やクレームもなくなりました。この状態を継続するため、昨年「クレド(品質に関する基本方針)」運用を開始。社員が常に笑顔で気持ちよく働きながら「100年企業」をめざしていきたいです。

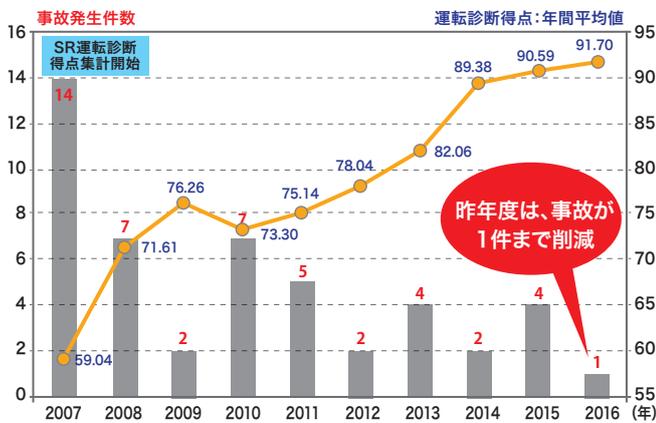


図1 2007年から2016年までの事故発生件数の推移と、SR運転診断得点(年間平均値)の推移。SR得点アップとともに、事故件数が削減傾向になっている

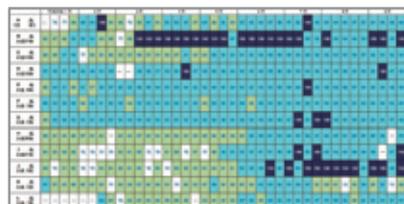


図2 本社営業所で成績が悪かったチーム例。白→緑→黄色→濃紺の順にSR得点が高い。右左折時の「スムーズ」が弱点であったが、チーム一丸となって弱点を克服し、得点低迷期から脱出したという

- ☑ 指差呼称確認を完全実施します。
- ☑ 必要十分な降車確認を実行します。
- ☑ 後退開始前「3秒」ルールを遵守します。
- ☑ 後退速度は「3km/h(最徐行)」以下を厳守します。
- ☑ 「絶対に後退事故を起こさない!」という強い意志で乗務します。

越野運送株式会社は、後退事故を起こしません!

図3 後退事故防止の5つの安全行動。特に、交通状況が変化する公道で守ることが難しいのが、3秒ルールと3km/h以下の最徐行だという



図4 運転席内の挙動とともに、後方(後退操作時)の挙動も記録。後退事故をなくすため、5つの安全行動が守られているかをデータ化・検証した

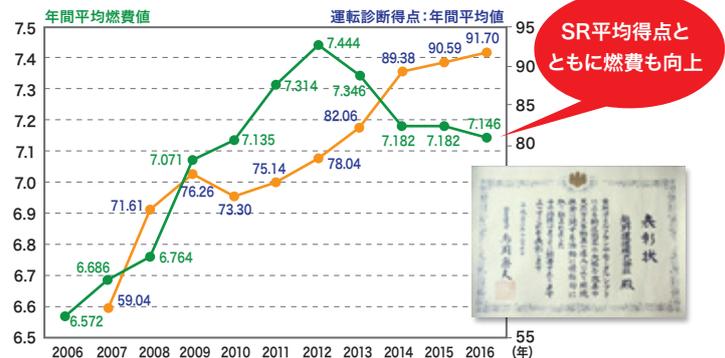


図5 SR得点の年間平均点(黄色)とともに年間平均燃費効果(緑)も向上。事故削減+エコドライブ効果にもつながった。写真右は、同社が2010年に受賞したグリーン物流優良事業者表彰 国土交通大臣賞



写真 昨年4月から「クレド」の運用を開始。今春には、完全版となるという。企業理念や社は、スローガンがまとめられ、社員全員で内容を推敲・製作したものだ

# SRお客様交流会 分科会レポート



## 1. 「安全」徹底追及(1)

もっとも多いのが構内事故での小さな事故やバック事故など。ビデオ映像による運転の分析で問題点を知り、ドライバーにフィードバックを行う。ヒヤリハットの事例映像を事故予防に役立てる。

## 2. 「安全」徹底追及(2)

軽微な事故やバック事故は、どの会社も「悩みの種」。「アメ(褒賞)とムチ(懲罰)」を効果的に使い分けて、構内での運転ルール化を行い、指導を徹底させる。コミュニケーションを忘れずに。

## 3. マナーをぶち破る

管理者、ドライバーの相互理解を深め、共に問題解決に当たる(気持ちが大変)。SRを「ドライバーと対話するためのツール」とし、「褒める」「叱る(指導する)」を臨機応変に対応していく。

## 4. 売上げを上げずに利益を出す

「新人教育の徹底」「車両を含む物品の計画的な大量購入」「給与調整・見直し時の社会保険料の最適化」を図る。燃費改善と事故削減



減に優先順位を付け、全社一丸となって取り組む。

## 5. フォークリフト操作に隠されたケン

作業手順書や社内ルールを作り、ルール遵守を意識付ける。SR ForkLiftの客観的なデータを活用し、通常のSR(一般車両)で培った指導ノウハウを、フォークリフトの安全教育に役立てる。

## 6. SRに求めること

動態情報と連動し、生産性向上に役立つ機能、単位時間のコスト分析が可能な労務管理機能など。運送業に必要なデータが管理でき、積荷の温度管理やバーコード、スマホによる管理機能もほしい。

## docoです car Safetyが通信型ドライブレコーダーに対応

### 映像・動態管理と、SR同等の運転診断を実現

ドコモ・システムズ株式会社は、通信型ドライブレコーダー(写真)を活用し、トラックや営業車の安全運転を支援する法人向けのITサービスを始めた。同社は動態管理サービス『docoですcar』を約15年提供し続け、運行管理のトータルサポーターとして、すでに1万5千台の導入実績を持つ(図)。

今回ラインナップに加わった通信型ドライブレコーダーでは、ドコモの携帯電話網を使い、運転挙動データを自動アップロード。クラウドでSRと同等の運転診断を行い、結果をWeb上で即時閲覧可能になっている。

また本端末は、ICカードリーダーを内蔵しており、免許証による運転者認証にも対応。運転データは自動的にドライバーと紐付けられるため、現場の運用負荷も最小限になっている。



写真 NFCカードリーダーを搭載した専用の通信型ドライブレコーダー



図 『docoですcar』のサービスイメージ。ドコモのLTE通信により、危険挙動発生時の映像データを高速転送できるため、ストレスなく閲覧可能

お問い合わせ先: ☎ 0120-861-374 (ドコモ・システムズ株式会社) 受付時間: 月曜~金曜 (10:00~17:00)

## 衝撃の新事実 てっくろう誕生のヒミツ

データ・テックの愛すべきマスコット「てっくろう®」。その誕生秘話 (Vol.1) を動画サイト「YouTube」で公開中。「故郷のM79ふくろう星雲を水蒸気爆発で吹き飛ばされ、地球に不時着。データ・テック創業者の田野社長と出会い、SR開発に着手。世界中の人々のため、「新たな野望」に燃えるのであった……」  
今後も「てっくろう秘話」をYouTubeに続々、公開していく予定です。どうぞ、お楽しみに!!

だれも知らないボクの誕生秘話 教えてあげる



ドクターSR「てっくろう®」

youtube てっくろう

## 第25回 SRお客様交流会

2017年10月6日(金) 開催予定 [東京・大田区産業プラザPiO]

## 各種物流&運用セミナー

物流セミナーや、SR各種セミナーを随時開催中

イベントの詳細は、弊社ホームページをご参照ください URL: [www.datatec.co.jp](http://www.datatec.co.jp)